

民主党の気候変動政策へのエール

2009年9月8日

国際環境 NGO FoE Japan

〒171-0014 豊島区池袋3-30-8 みらい館大明1F

TEL: 03-6907-7217 FAX: 03-6907-7219

WEB: <http://www.foejapan.org> MAIL: info@foejapan.org

昨日、民主党鳩山代表は、気候変動対策における国際的なリーダーシップへの決意を表明しました。

国際社会の中でも強く批判され続けてきた自民党政権下の中期目標(2020年までに2005年比15%削減=1990年度比8%削減)に対し、鳩山新政権では公約どおり、1990年比で25%削減と大幅に拡大した目標値を目指すことが明かされました。ようやく日本も国際社会と協力して、地球規模の危機に取り組む姿勢を見せることができました。

一方で、産業界からは経済への影響を懸念し目標値が高すぎるとの批判の声が相次ぎ、民主党気候変動政策には早くも厳しいプレッシャーがかけられています。しかしながら、最新の科学は、危険な影響を避けるためには、先進国が2020年までに少なくとも1990年比で25%~40%削減しなければならないと警告しており、25%減でも十分な目標値とは言えません。削減は早ければ早いほど、影響も少なく、また緩和・適応双方にかかる対策コストも少なく抑えることができると予想されています。短期的な負担を懸念するプレッシャーに屈することなく、日本および地球全体の将来に有益な行動が求められます。

FoE Japan は、年末に開催される国連コペンハーゲン会合に向けて、日本がさらに野心的な目標を国際公約として掲げること、また目標達成のために、海外におけるオフセットや森林吸収に頼ることなく、国内の大規模排出源からの削減を促進する国内制度を整備することを求めます。

鳩山代表は、途上国の温室効果ガス削減対策に対する資金・技術支援「鳩山イニシアティブ」を検討していくことも強調しています。

FoE Japan は、鳩山代表が「共通だが差異ある責任」の下に、日本の歴史的排出に責任を持って対応していく姿勢を歓迎します。地球規模で温暖化を防止するために、「鳩山イニシアティブ」が国連の下で、真に公平で公正な資金・途上国支援のメカニズムの構築に貢献することを期待します。また、これまでの先進国の大量排出によって引き起こされた気候変動の影響を受ける、小島嶼国や後発開発途上国などの特に脆弱な途上国に対する支援を求めます。